## えひめ地域づくり研究会議の 取り組みについて



「えひめ地域づくり研究会議」は、県下各地の地域づくりに関わりを持つ人が自由に交流、 学習・研究できる組織として、1987年に発足しました。(現在会員は約150人。地域づくり に関心を持つ人であれば誰でも参加できます。)

発足以来、地域づくりに関する各種フォーラムの開催や、機関誌「風おこし」の発行等の活 動により、人と情報のネットワークを広げております。

また、今年1月の年次フォーラムでは、「継続する力」と題して、岡田文淑氏、亀岡徹氏、 若松進一氏といった3人の愛媛の先駆者から地域づくりの理念を伺いました。

今回は、そのような活動に取り組んでいる研究会議の森田事務局長に「地域づくり」への 熱い思いを語っていただきます。

はどうしたとか、様々なしがらみに縛られ うはいかない。以前はどうだったとか、誰々 思う人が、やりたいように、やれることをや ないだろうか? 議論も出始め、「お金(予算)が少ない」とか る。組織を維持するため、面子を保つための 責任の持てる範囲。そう考えると話は難し る」のだから、責任者は自分。予算は自分の 言わない」「やらない」に陥る。 誰も手伝ってくれない」になり、 地域づくりの原則は「やりたい、やろうと しかし24年も経つと組織ではなかなかそ 「誰も何も

20年を期待されている。 待に応えられない。 媛の取り組み」として称えられ、これからの を手にとる。錚々たる方々から「先駆的な愛 2007年に作った「創立20周年記念誌 が、このままでは期

では、どうすれば活性化できるか??「会

害はなかった。しかし、このような災害は他

幸いにも今回は愛媛には直接の甚大な被

本から見直さなくてはならない時がきた。

に向かって地域づくりの風おこし に新しい未来を自らの力で啓くべ 生きる我ら同志は、まちむらのため く、心に希望の灯をかかげ、学びあ となることをちかうー えひめを愛しそれぞれのまちむらに 結び合いながら、よりよい明日

えひめ地域づくり研究会議 1007 う、活性化委員会を組織しよう…。 員を増やそう、会費の徴収をしっ にあるべく、心に希望の灯をかかげて学びの いやどうもしない。「風おこしのちか かりやろ

えひめ地域づくり研究会議 創立20周年記念誌

生き様としての姿が描かれているとは思え からも、ここ、ふるさと愛媛、に住む我々の 念を何度も何度も読み返す。これまでも今 ハマが 「風おこしのちかい」と呼ぶこの理

# 今年のテーマは 復活・復興 ~更なる発展のために~」

帰ろう。ただそれだけだ。

ネットワークを構築すればよいのだ。原点に

を維持できなくなる。さらにエネルギーを使 我々は自分たちが作り上げてきた社会水準 をはじめ、低炭素社会の実現など以前から言 されているとさえ言われる。今後「脱原発 い放題に使ってきた現代人の生活様式を根 われ続けたことに直ぐ取り掛からなければ、 い。幕末、大戦後以来の三度目の岐路に立た に、人災とも言える原発事故も収束できな 未曾有の大震災に遭遇した。さら

### Talk Now

人事ではない。いつかは我々にも直接降りた、「防災」への対応を急がなければならなた、「防災」への対応を急がなければならない。今、一人一人が「みんなのために何ができるのか」を自らに問い、考え、行動しなければならない。また地域みんなで確認するに業も大切だ。早速はじめよう。これこそがでまちづくり、である。 震災を受けた地域は、地域社会全体で支えための支援や協力を惜しまず、我々が愛媛のための支援や協力を惜しまず、我々が愛媛のための支援や協力を惜しまず、我々が愛媛の大切だ。早速はじめよう。これまでどこか他人事であっための支援や協力を惜しまず、我々にも直接降りための支援や協力を惜しまず、我々にも直接降りた。



地域別活動者集会(写真は2010年度実施分)

風をおこす人になりたいと思う。

総会フォーラム (写真は2010年度実施分)

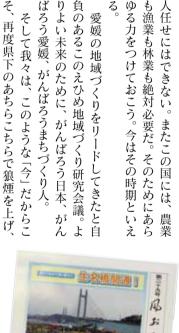
#### 今年度の主な事業 <u>(予定)</u>

情報誌「風おこし」発行(年2回/活動報告、会員の活動紹介等) 地域別活動者集会(随時/県下各地でネットワーク構築) 総会フォーラム(24年1月/会員が一堂に会する年次フォーラム) 運営委員会の開催(2月に1回/運営方針を協議)

#### 入会等のお問い合わせは

えひめ地域づくり研究会議事務局 (財えひめ地域政策研究センター内) まで

TEL:089 - 926 - 2200 FAX:089 - 926 - 2205 http://www.ecpr.or.jp/community/?page\_id=11





情報誌「風おこし」